

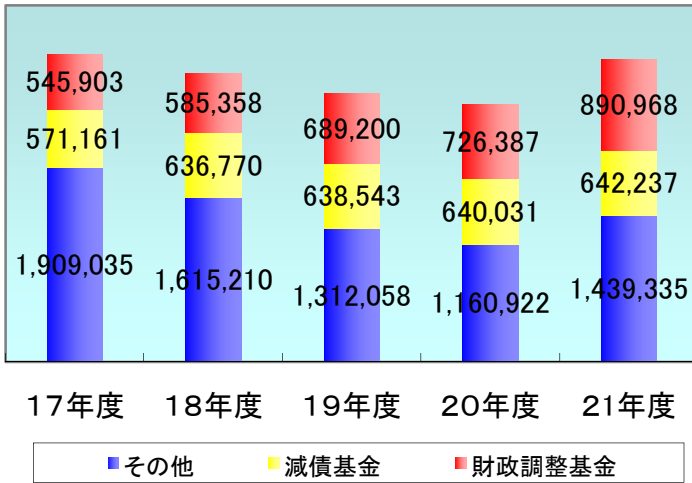
平成21年度普通会計決算資料

交野市

積立金（基金）について

積立金（基金）の推移

（単位 千円）



【平成21年度決算】

今年度は第二京阪道路環境監視基金が新たに積み立てられ前年度と比べて大きく増額となりました。黒字収支のため、基金の取り崩しはありませんでした。

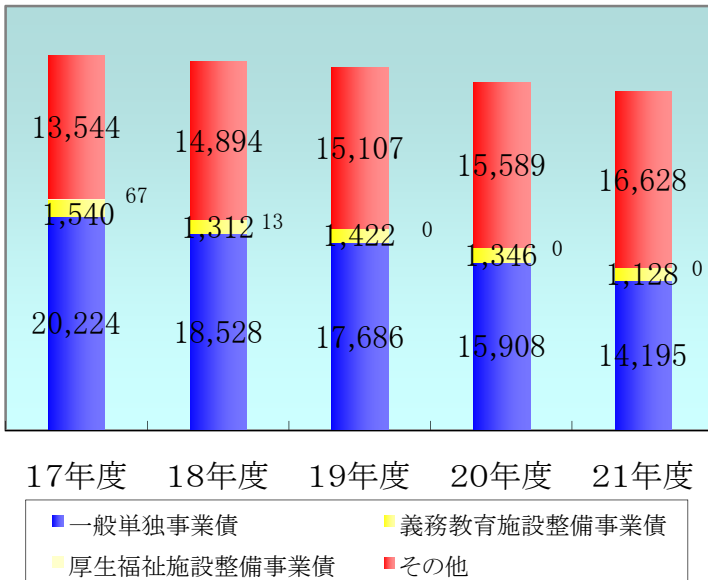
（単位 千円）

基金名称	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
財政調整基金	545,903	585,358	689,200	726,387	890,968
減債基金	571,161	636,770	638,543	640,031	642,237
その他	1,909,035	1,615,210	1,312,058	1,160,922	1,439,335
合計	3,026,099	2,837,338	2,639,801	2,527,340	2,972,540

市債について

市債の推移

（単位：百万円）



【平成21年度決算】

各種公共施設、ゆうゆうセンター、いきいきランド、駅前広場、公園、道路などを整備する際、一度に多額の費用が必要となります。その費用を確保するため、国や府などの有利な制度を積極的に利用し資金の借入れを行っています。

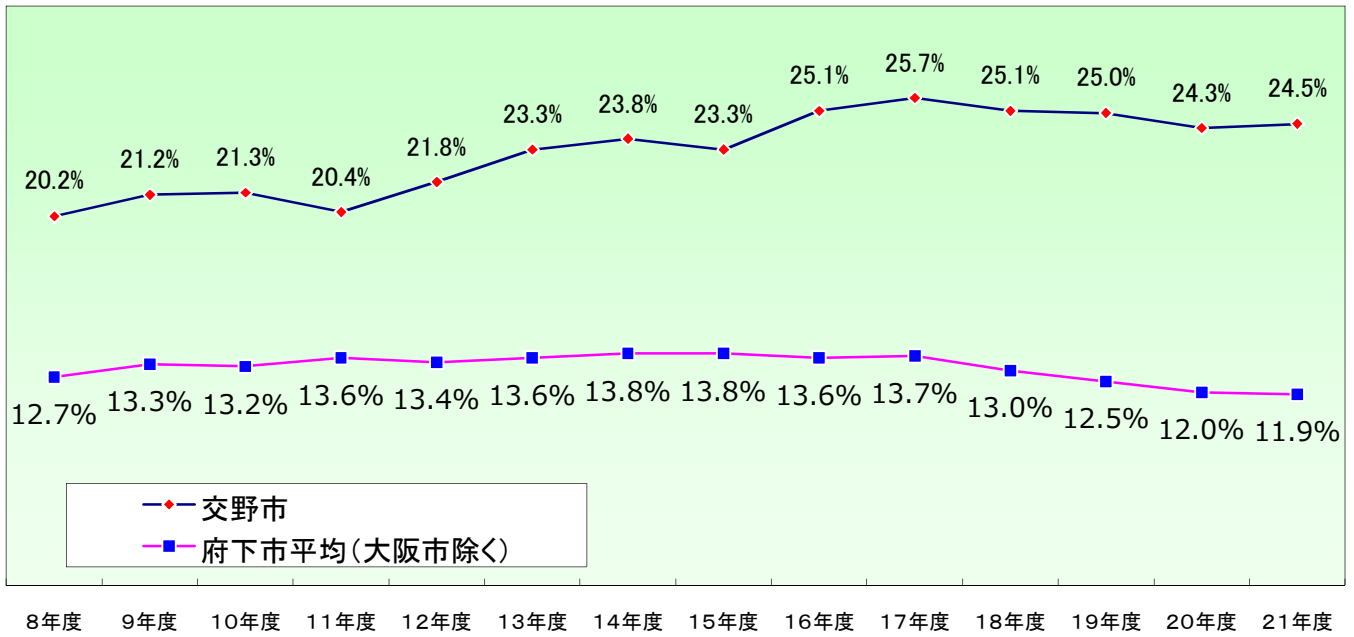
近年では財政の健全化を図るため、公共事業を抑制し、新たな資金の借入れを制限しているものの、土地開発公社健全化に係る用地取得等を行っているため、市債現在高は減少傾向にあるが大幅な減少とはなっていません。

平成21年度については、新規事業を抑制したため、約9億円の減少となりました。

（単位 百万円）

事業債名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
一般単独事業債	20,224	18,528	17,686	15,908	14,195
義務教育施設整備事業債	1,540	1,312	1,422	1,346	1,128
厚生福祉施設整備事業債	67	13	—	—	—
その他	13,544	14,894	15,107	15,589	16,628
合計	35,375	34,747	34,215	32,843	31,951

公債費比率の推移



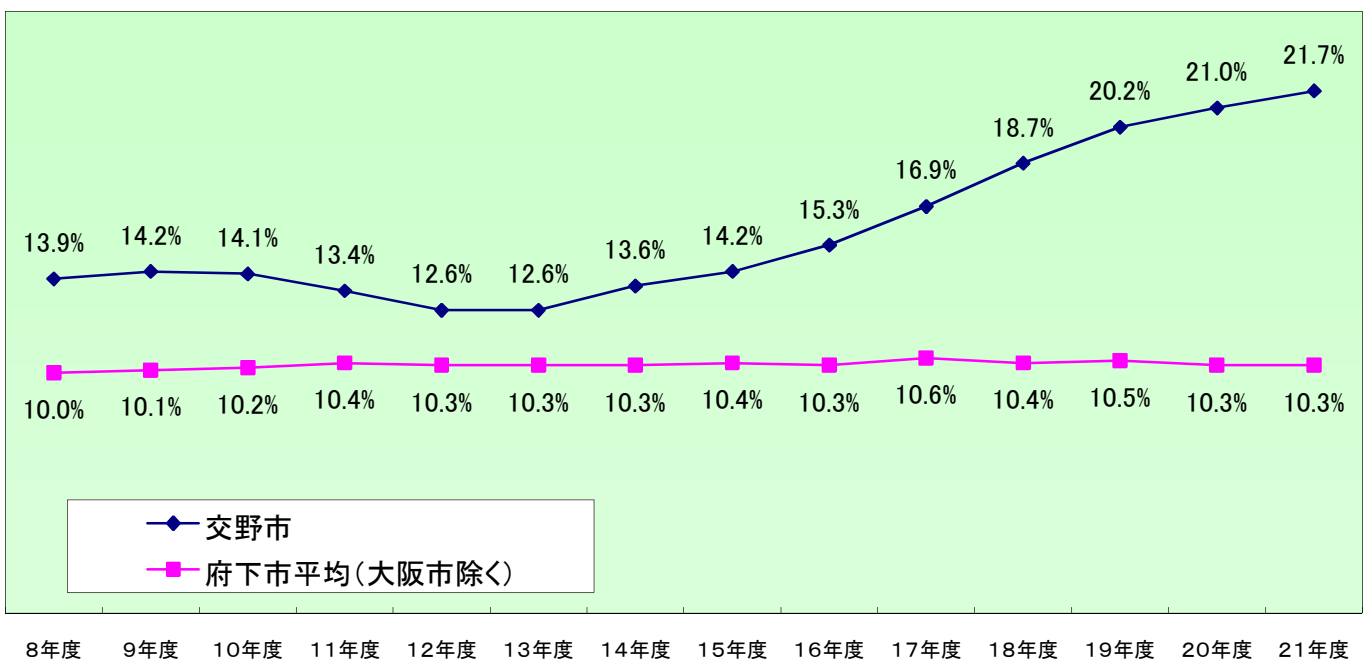
【公債費比率における特徴】

本市は財政基盤が脆弱であるため、各種事業を実施する際に市債(借金)に頼らざるえないため、府下市平均を大幅に上回っています。

【起債制限比率における特徴】

返済金(公債費)が財政規模に占める割合で、返済金の財源として、交付税により交付される額を除いて計算したものです。本市が公債比率よりも率が低いのは、返済金の一部が交付税により交付される有利な国の制度の活用を図り、借入れを行っているためです。

起債制限比率の推移



【実質公債比率における特徴】

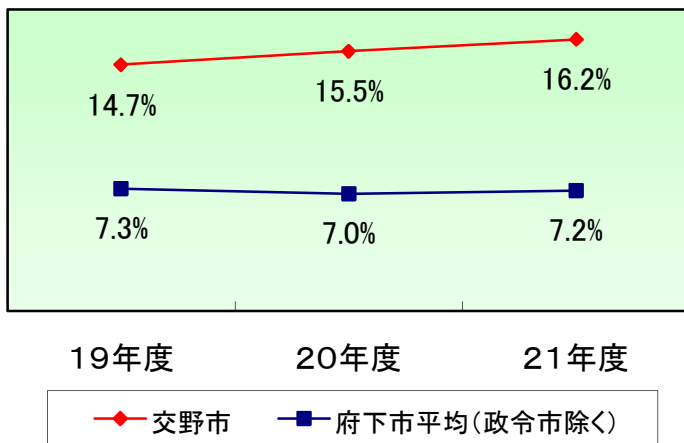
平成18年4月に地方債制度が「許可制度」から「協議制度」に移行したことに伴い導入された財政指標であり、起債制限比率と同様に返済金（公債費）が財政規模に占める割合で、返済金の財源として、交付税により交付される額等を除いて計算したものです。

起債制限比率と実質公債費比率の相違点は、元利償還金と交付税に算入される額に下水道など公営企業の支払う元利償還金への一般会計からの繰り出し金、PFIや一部事務組合等の公債費類似経費を参入することで、いわば連結決算の考え方を導入していることです。

【一定の数値を超えると下記の制限を受けます。】

- 18%以上の団体 ……引き続き地方債の発行に国の許可が必要
- 25%以上の団体 ……一般事業等の起債が制限

実質公債比率の推移

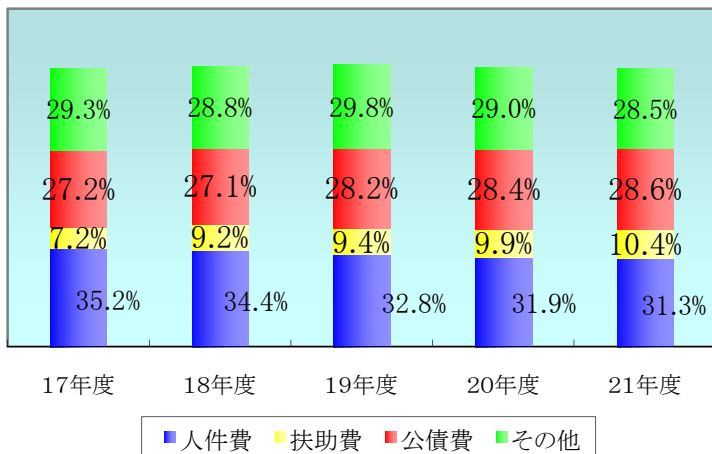


【平成21年度決算】

土地開発公社健全化のための起債の継続発行などで、公債費（借金の返済）が増加したことなどにより、0.7%悪化し16.2%になりました。実質公債比率は3年平均となっています。

経常収支比率について

経常収支比率の推移



【平成21年度決算】

経常収支比率は、過去に市債を大量発行したためにできた多額な公債費と、近年の高齢化や生活保護の増加による扶助費などの増加により、高い数値になっていますが、今年度は昨年度から0.4%改善しました。

これは、生活保護などの扶助費の伸びに対して、人件費を給与カットや新規採用を退職者以下に抑えるなどで、0.6%改善したことが要因となっています。

経常収支比率の推移

性質別	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
人件費	35.2%	34.4%	32.8%	31.9%	31.3%
扶助費	7.2%	9.2%	9.4%	9.9%	10.4%
公債費	27.2%	27.1%	28.2%	28.4%	28.6%
その他	29.3%	28.8%	29.8%	29.0%	28.5%
合計	98.9%	99.5%	100.2%	99.2%	98.8%